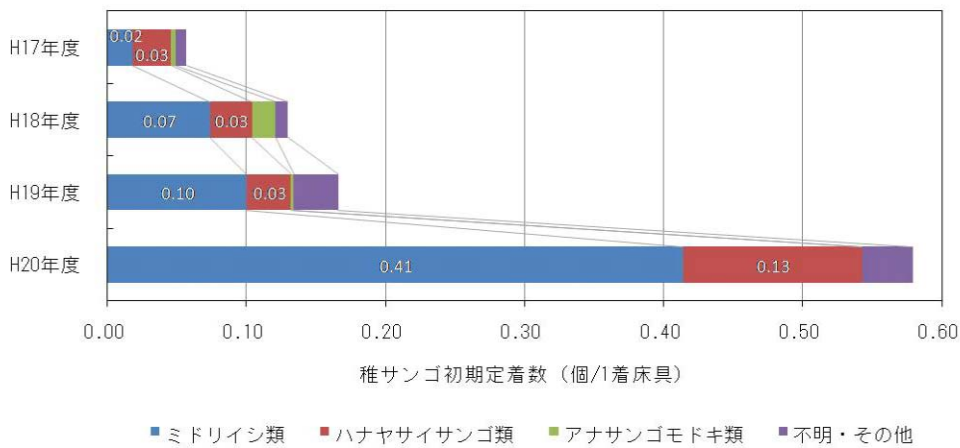


## サンゴ移植に係る着床具への定着について

### 1. 着床具への定着について

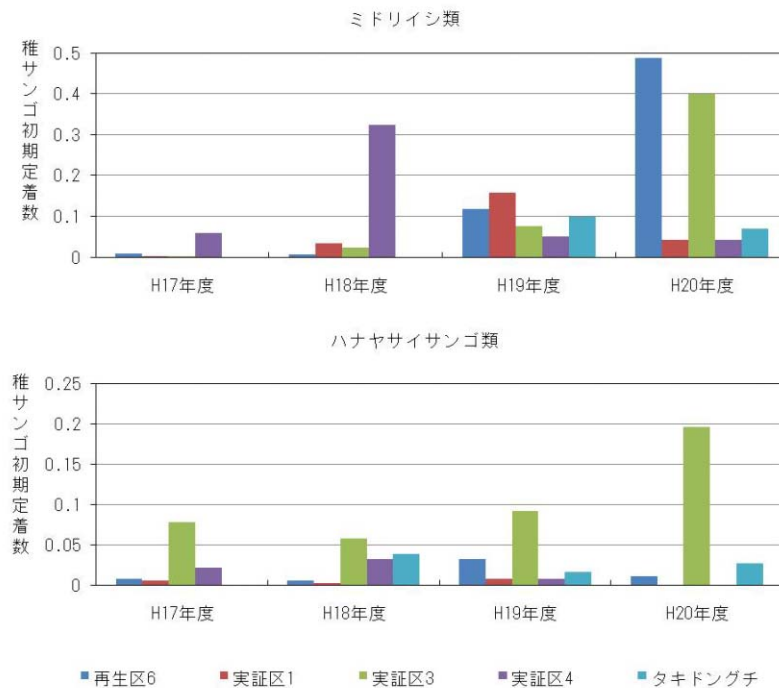
着床具は5月頃に設置。設置約4ヶ月後(8~10月)の稚サンゴ初期定着数をカウントしたもの。移設を行わない再生区6、実証区1、実証区3、実証区4及びタキドングチの定着数を調査対象とした。H17~18年度は05年型着床具、H19~20年度は07年型着床具のデータを下表では用いた。また、H19~H20年度では装填手法(8ケース6ケース)を変更している。

稚サンゴ定着数は年々増加している。特に、H20年度においてミドリイシ類やハナヤサイサンゴ類が増加した。



### 2. 着床具の設置場所について

ミドリイシ類については設置場所による顕著な特徴の違いはみられなかった。ハナヤサイサンゴ類については実証区3で多く定着する傾向がみられた。



(着床具設置に係る変更事項)

年度	設置場所	着床具の改良等	参考,蓄養方法
H17	再生区6、実証区1、実証区3、実証区4		基本的には設置箇所に蓄養
H18	再生区6、実証区1、実証区3、実証区4、 タキドングチ		
H19	再生区6、実証区1、実証区3、実証区4、 タキドングチ、 <b>名蔵湾</b>	着床具脚径を太くした	名蔵湾については、設置2ヶ月 後タキドングチに移設
H20	再生区6、実証区1、実証区3、実証区4、 タキドングチ、 <b>名蔵湾、北礁縁部</b>	8ケース装填 6ケース装填に変更	名蔵湾、北礁縁部については、 設置2ヶ月後ヨナラ水路に移設

(参考 1)

名蔵湾に設置した着床具当たりのミドリイシ類初期定着数 ;1.2 個(H19)、0.2 個 (H20)  
北礁縁部に設置した着床具当たりのミドリイシ類初期定着数;2.5 個 (H20)

(参考 2)

装填方法の違いによる着床具当たりの定着数について

定着数向上を図るため H19 に装填方法を試行し、H20 より6 ケース装填を採用した。

8 ケース装填の定着数;0.17 個、6 ケース装填の定着数;0.31 個